

(様式3)

会 議 の 要 旨 (議 事 録)

会 議 の 名 称	第6回鳥栖市公立保育所のあり方検討委員会		
開 催 日 時	令和7年8月6日 18時30分～	開 催 場 所	鳥栖市役所1階 多目的ホール
出 席 者 数	13人(委員) 6人(事務局) 計19人	傍 聴 人 数	0人
議 題	(1) パブリック・コメント意見に対する市の考え方について (2) 鳥栖市公立保育所再編計画について (3) その他		
配 布 資 料	パブリック・コメント結果資料 下野園・鳥栖いづみ園 在園児保護者からの質問と回答 鳥栖市公立保育所再編計画(案)		
所 管 課	(課名) こども育成課 (電話番号) 85 - 3552		

1. パブリック・コメント意見に対する市の考え方について

事務局より次の資料に基づいて説明

- ・パブリック・コメント結果資料
- ・下野園・鳥栖いづみ園 在園児保護者からの質問と回答

委員長：パブリック・コメントで意見いただいた方の特徴や年代は分かるのか。

事務局：事務局で把握はしているが、パブリック・コメント実施に当たり、個人情報とは公開しないとなっているので公表は差し控えたい。

委員長：パブリック・コメントを行うにあたりどのような意見があるか不安があったが、どの意見も前向きで、在園しているこどもたちや保護者のため、保育者のためを思った意見が多かったように思う。また、保育の質向上のご意見では、保育環境評価スケールなどの具体的な提案があるなど、私自身も、関心を持っている内容であり、専門的なご意見をいただき驚いた。

そのほかにも、安心できる子育て支援や子ども・子育ての分野で処遇改善や、就労改善などの点においても、他市町の事例などを、参考に向上させていけるのではないかと思う。

2. 鳥栖市公立保育所再編計画について

事務局：今回のパブリック・コメントで頂いた意見の中で、再編計画案に対して変更や修正を求める内容等はなかったので市で作成した再編計画で進めていきたい。

委員：公立保育所の再編の進め方について、再編を進めていく過程等はホームページ等で公開されたりするのか。

事務局：これから、再編計画について市で決裁を取り決定して進めていくが、今後は選考委員会で、実際に基準をつくって、事業者を選んでいく作業に入るが、委員会を立ち上げたり、さらにプロポーザルの実施や優先交渉する業者が決まるなど、その経過についてはホームページ、市報等に公表していく。

特に、下野園と鳥栖いづみ園に通われている保護者には、随時進捗情報状況等について、報告していきたいと考えている。

委員：公表されていく中で、プロポーザルの部分などは、実施要綱に基づいた方法で行っていくのか。

事務局：最近はプロポーザルで業者を選定していく事例も多くなっている。専門的な事に関して、事業者のほうが知見やノウハウを持っていることもあるので、今回も本市で作成されているプロポーザルの基準に従いながら業者等を選定できればと考えている。

それでは本再編計画で進めていきたいと思う。

委員一同：【了承】

3. 今後について

事務局より次の資料に基づいて説明

- ・鳥栖市公立保育所再編計画（案）p11（3）スケジュール

委員：公募はどのような形ですか。

事務局：まだ詳細は、内部の調整が済んでいないため、公募にかけるということで、大まかな構成は考えているが、詳細については今後検討したいと考えている。

委員：小城市では県内の社会福祉法人や学校法人に民間移管をする移管先の公募案内をしていたが鳥栖市ではどの程度の規模を想定しているのか。

事務局：他市町でどのようにしているか現在確認中。なるべく地元で実績のある法人を念頭に置きつつも、プロポーザルの為、しっかりと基準に沿って案内していきたいと思う。

委員：下野園や鳥栖いづみ園は民間移管するにあたって園舎を改築していくと思うが改築することで定員を増やしたりすることは想定しているのか。

事務局：保育の営業の定員供給の数は、これまで説明があったように子ども・子育て支援事業計画で定めており、そこでニーズ量がどれぐらいなのか、供給量がどれぐらいあるかで、定員は決めていく形になる。

今のところは、計画に基づいて、保育所の規模は決めていく必要がある。

園舎の改修により、新たな保育ニーズに対応できるようにしていくことも必要でただ人数を増やすのではなく、保育が必要なこどもたちが入るような形での定員を踏まえての再編になる。

委員：合同保育について3か月以上と書いてあるが、例えば、就学前の園児で、就学する小学校に説明をする際に出会って短い先生が説明するのは、園児の生活や育ち方、経験を説明するのは難しいのではないか。話を聞いただけで引き継いだ先生が説明するのは心配である。

事務局：園にいるこどもたちの実情などを踏まえながら、合同保育や引き継ぎ保育を

行っていきたい。短い期間ではなくて、保護者、こどもたちにあまり違和感がないように、新しい事業者とは協議をしながら、お互いに負担がない形で進めていきたい。

委員：業者選定されて園舎の改築、改修等があると思うが、これらの費用は選定された事業者が払うのか。

事務局：業者の提案によると思うが、下野園と鳥栖いづみ園では規模や老朽化具合も違うので、一部不具合のある個所を修正して引き渡したりすることも考えられるが下野園については老朽化が進んでいるため、建て替えを想定しているが、市で建て替えるのか、それとも事業者の意向を含んでのプロポーザルをするのか考える必要がある。

建て替えの費用について、市が建て替えると全額市の負担になるが、事業者が建て替えると、おおむね国が 1/2、市と事業者が 1/4 ずつの費用となる。

委員長：本日で公立保育所のあり方検討委員会は終了となる。

2 年前の 8 月に第 1 回委員会が開催され、本日まで委員の皆様には、鳥栖市の今後の為、公立保育所の役割や規模について考え、様々なご意見をいただき審議することができた。

これからは公立私立、それぞれの良さを活かしながら真の意味での連携を深め、協力していくことが大事である。

この先再編に当たり保護者の皆様やこどもたちが不安に思われないように丁寧な説明、納得していただける努力が必要である。これまでの良いところは踏襲しつつ、さらにより良い保育になることを願っている。

そして、今回の再編計画が鳥栖市にとってより良いものになると良いと考える。

委員の皆様をはじめとしてそれぞれの立場から鳥栖市のこどもたちのためにこれからも力を尽くしていただきたい。

今までありがとうございました。

以上閉会